

峠の三十三観音コース[探索歩道]

峠の三十三観音（とうげのさんじゅうさんかんのん）コースは、上林（かんばやし）バス停からサンバレーバス停まで 640 メートルを登る中級者向けの自然探索歩道である。5.6 キロメートルの道のりを登るのに約 3 時間 30 分かかるが、逆に下ってくることも可能なため、その場合の所要時間は約 2 時間 30 分となる。

コース沿いには、慈悲と哀れみの仏である観音菩薩の像が 33 体並んでいる。このコースはかつて志賀（しが）と草津（くさつ）の町を結んでいた旧道の一部で、これらの像は道標としての役割と、旅人が旅を安全に終わられるように祈りを捧げる参拝場所としての役割を果たしていた。

観音は旅人の守護者と考えられているため、観音像は道沿いで見かけることが多い。法華経では、観音が 33 の姿を持つものとして説かれており、その結果、三十三観音像すべてを巡る巡礼が広く行われるようになっている。その証拠に、この地にある像は、西国観音巡礼の名で知られる関西地方の有名な巡礼路にある寺の像をモデルにしたものである。